



会社説明会（中期経営計画）

〔2006年～2008年〕

—水と油と高分子のスペシャリストとして社会に貢献する—

M O R E S C O

（登記社名：株式会社松村石油研究所）

Matsumura Oil Research Corp

<http://www.moresco.co.jp/>

JASDAQ 5018

2006年3月16日

中期経営計画の概要

(07年2月期～09年2月期)

中期経営計画

[ビジョン・コンセプト]

「小さくとも世界にきらりと光を放つMORESCOグループ」
ー水と油と高分子のスペシャリストとして社会に貢献するー

[行動指針] **T O S S & Attack**

- **Thinking**
- **Open Communication**
- **Speed**
- **Stretch**

中期経営方針

- 1.世界に通用するナンバーワン製品を開発する
- 2.グローバル企業を目指してボーダレスに営業展開する
- 3.オリジナリティーの高い革新的な生産プロセスを開発する
- 4.グループのノウハウを結集し新しいビジネスモデルを開発する
- 5.意欲と能力の向上により社員一人一人が精鋭化する
- 6.グローバル企業にふさわしいコーポレートガバナンス体制を構築する

連結損益計算書

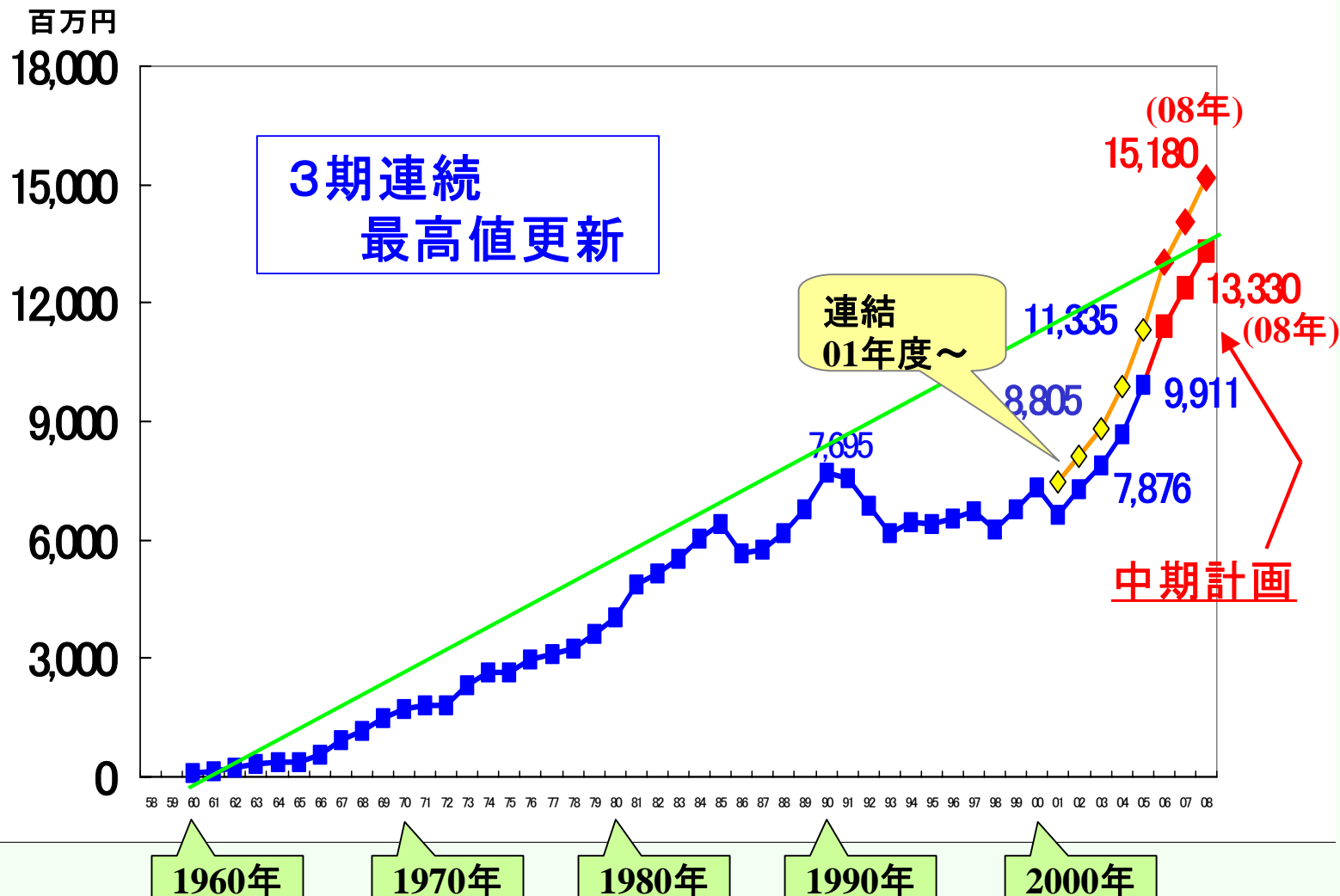
MORESCO

単位:百万円

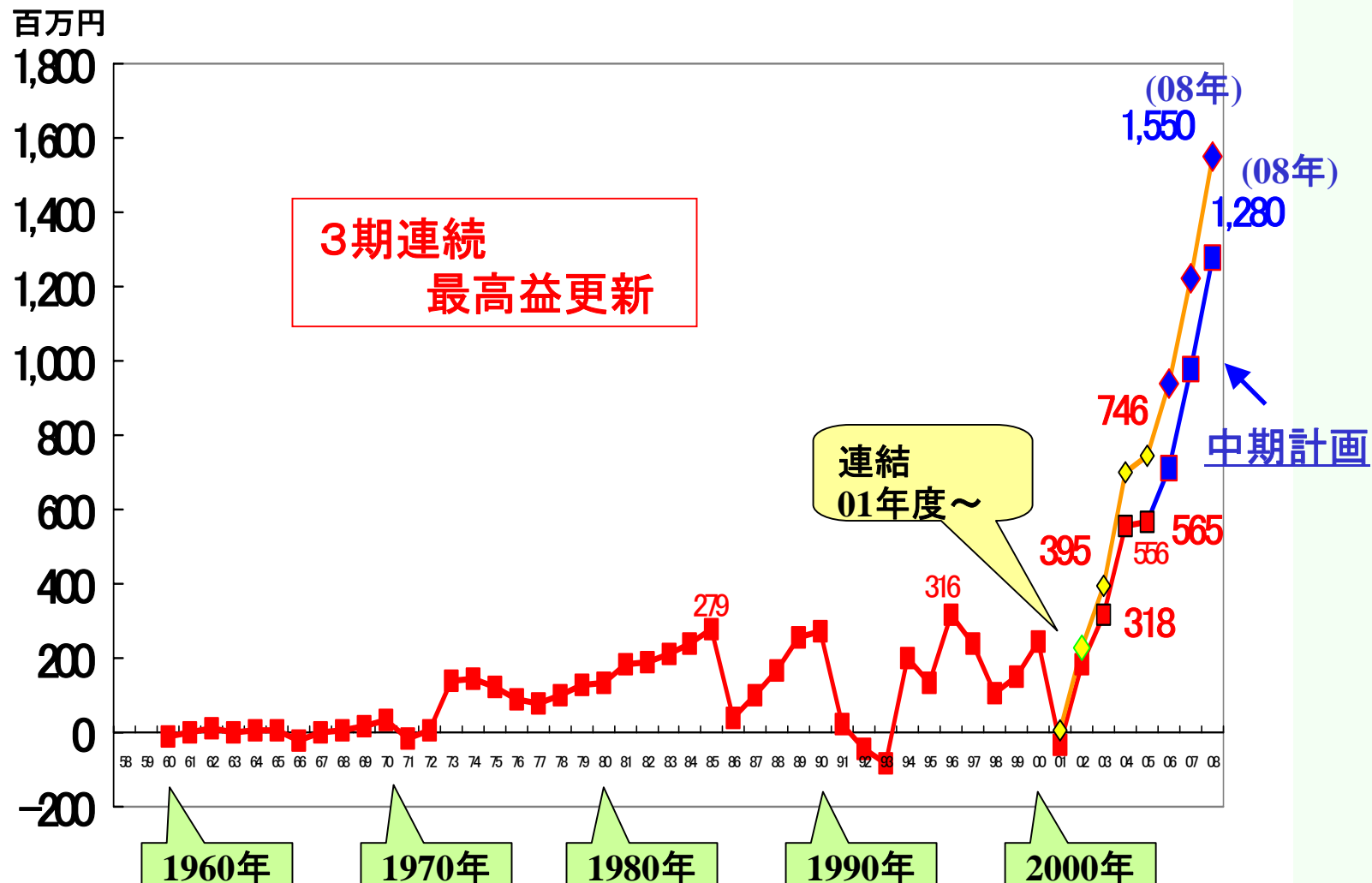
	06/2期*	07/2期	08/2期	09/2期
売上高	11,335	13,030	14,060	15,180
売上総利益	3,839	4,320	4,760	5,190
営業利益	699	920	1,190	1,500
経常利益	746	940	1,220	1,550
当期純利益	435	540	740	960

* 06/2期は当中期計画発表日(3/10)現在の見込み

MORESCO売上高推移 (創業以来)



MORESCO 經常利益推移 (創業以来)



直近3年間の成長要因

MORESCO

■ 売上

1. 特殊潤滑油は、内外自動車業界、鉄鋼業界の好調を反映
自動車部品アルミ化進展も追い風に
2. ハードディスク用表面潤滑剤が3.5インチのディスクにおいて、
採用率70%に拡大
3. 当社高温用合成潤滑油を原料とするグリース封入の
ベアリングが、欧米自動車メーカーでも採用
4. 流動パラフィンは、海外メーカーが為替動向等から後退
5. ホットメルト接着剤は、衛生材向けの好調に加え、ラベル
用途の新製品が売上増に貢献

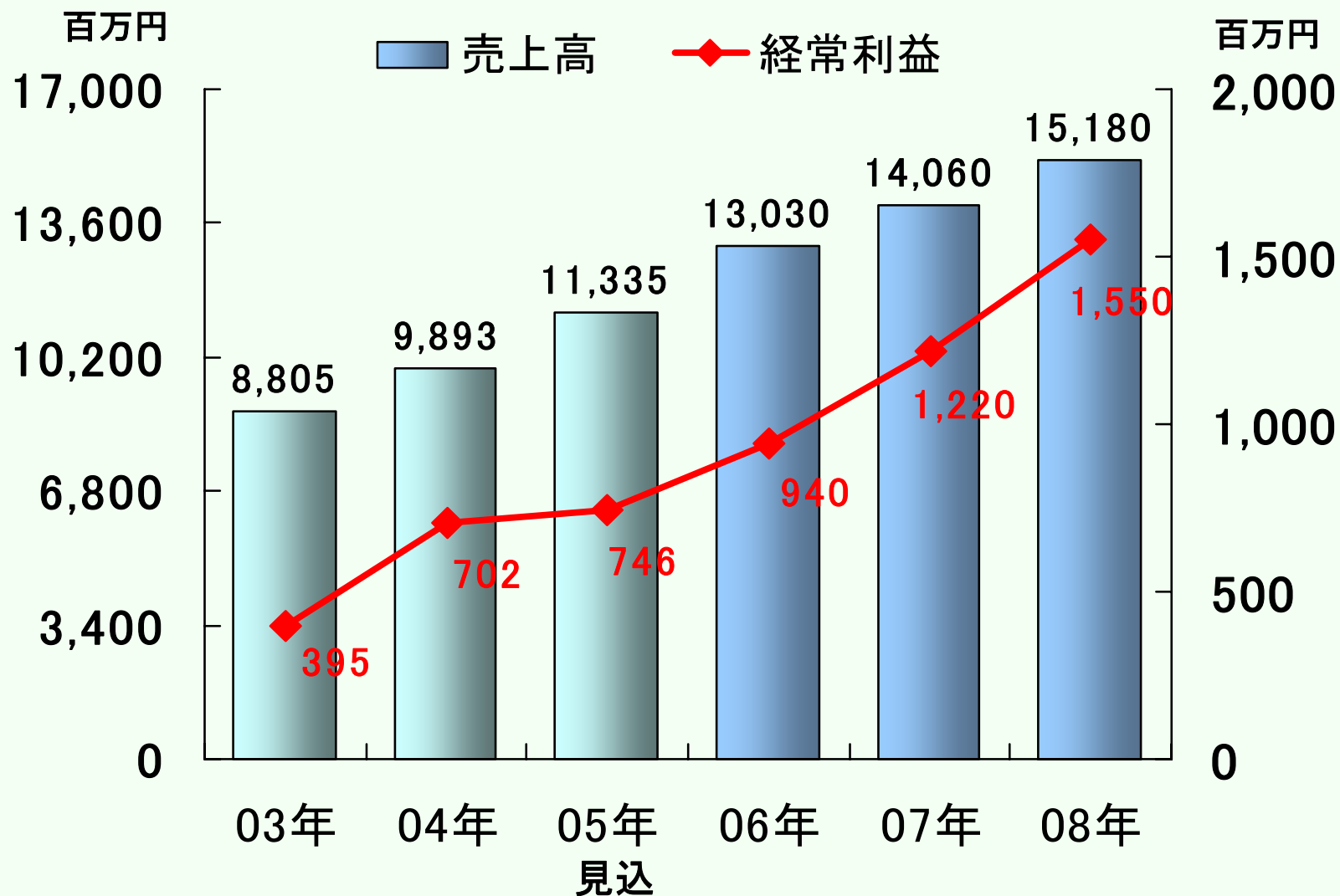
■ 利益

1. 売上増による粗利率改善
2. 高付加価値製品のウエイト増

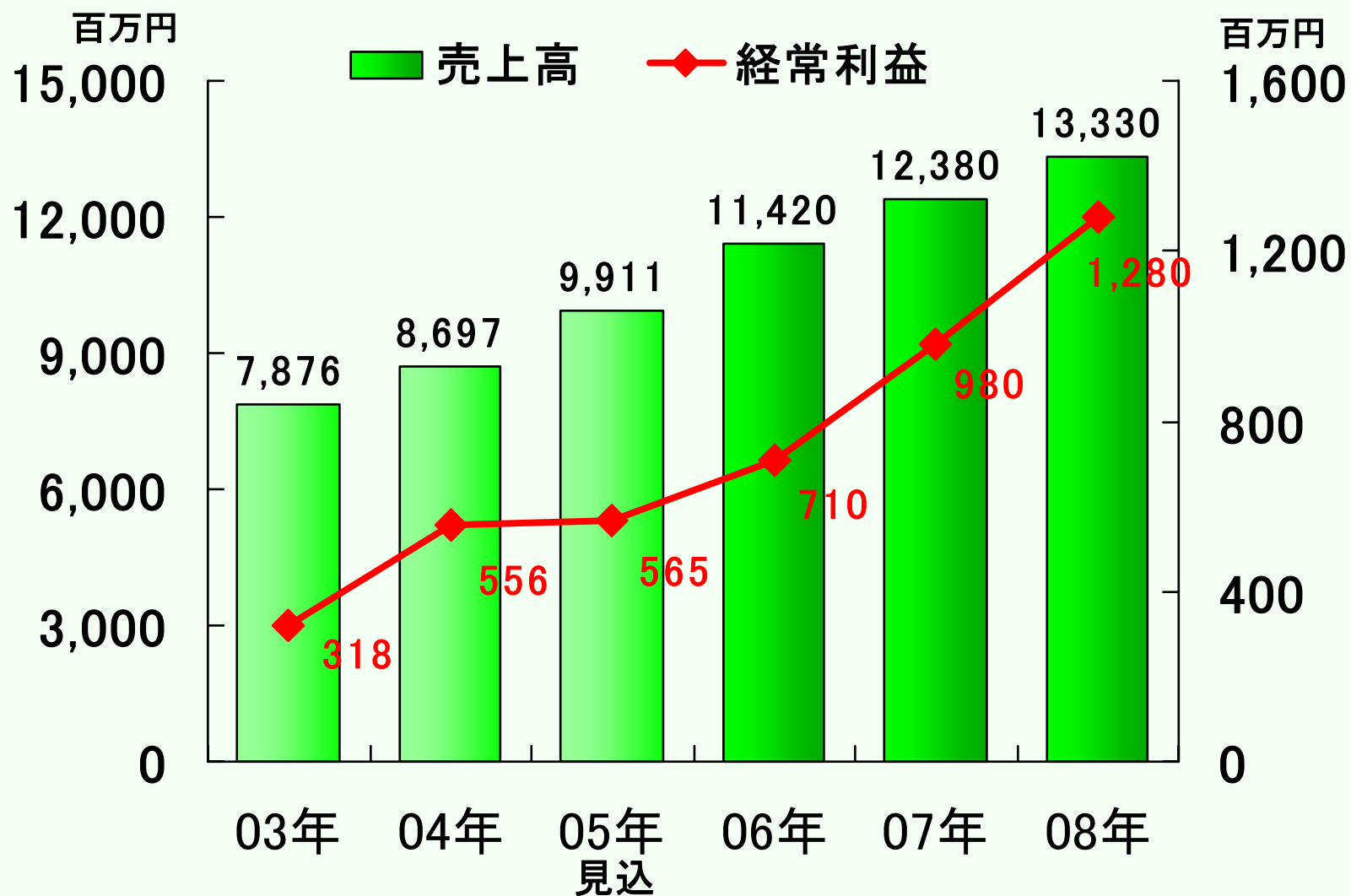


原油・ナフサの高騰
大幅な原材料アップ
が収益を圧迫。
05年度の利益
足ぶみ

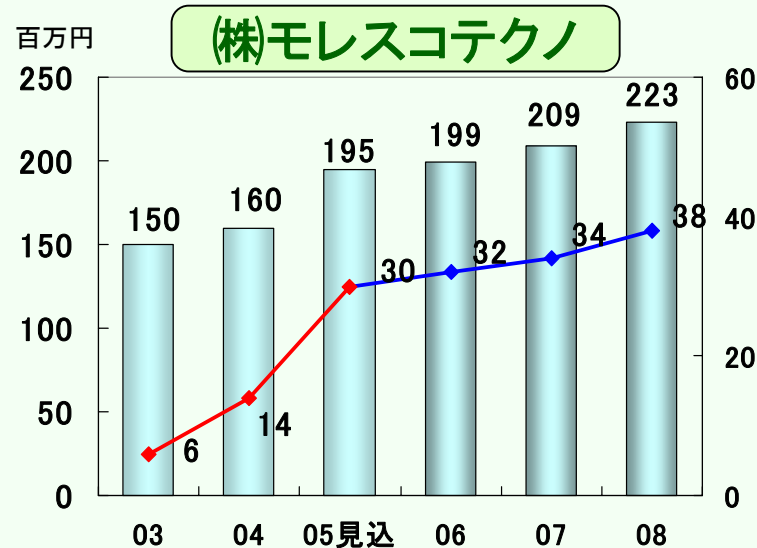
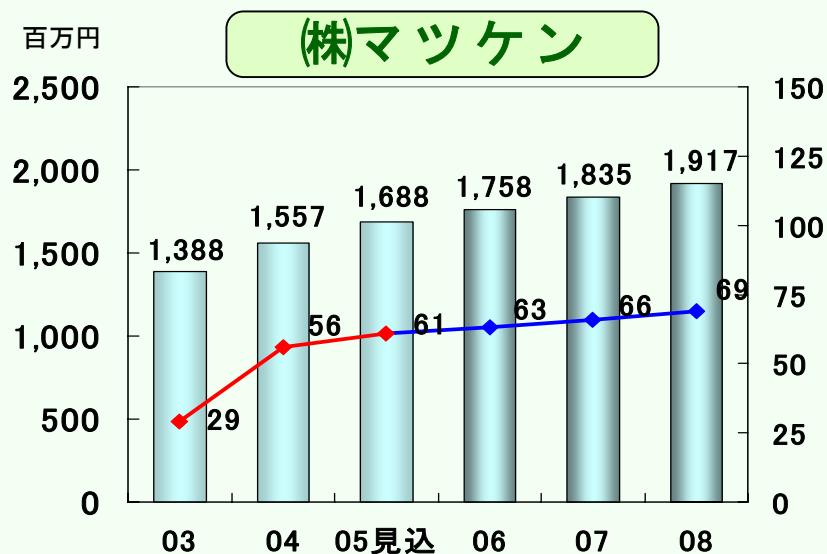
連結 売上高・経常利益推移



単体 売上高・経常利益推移

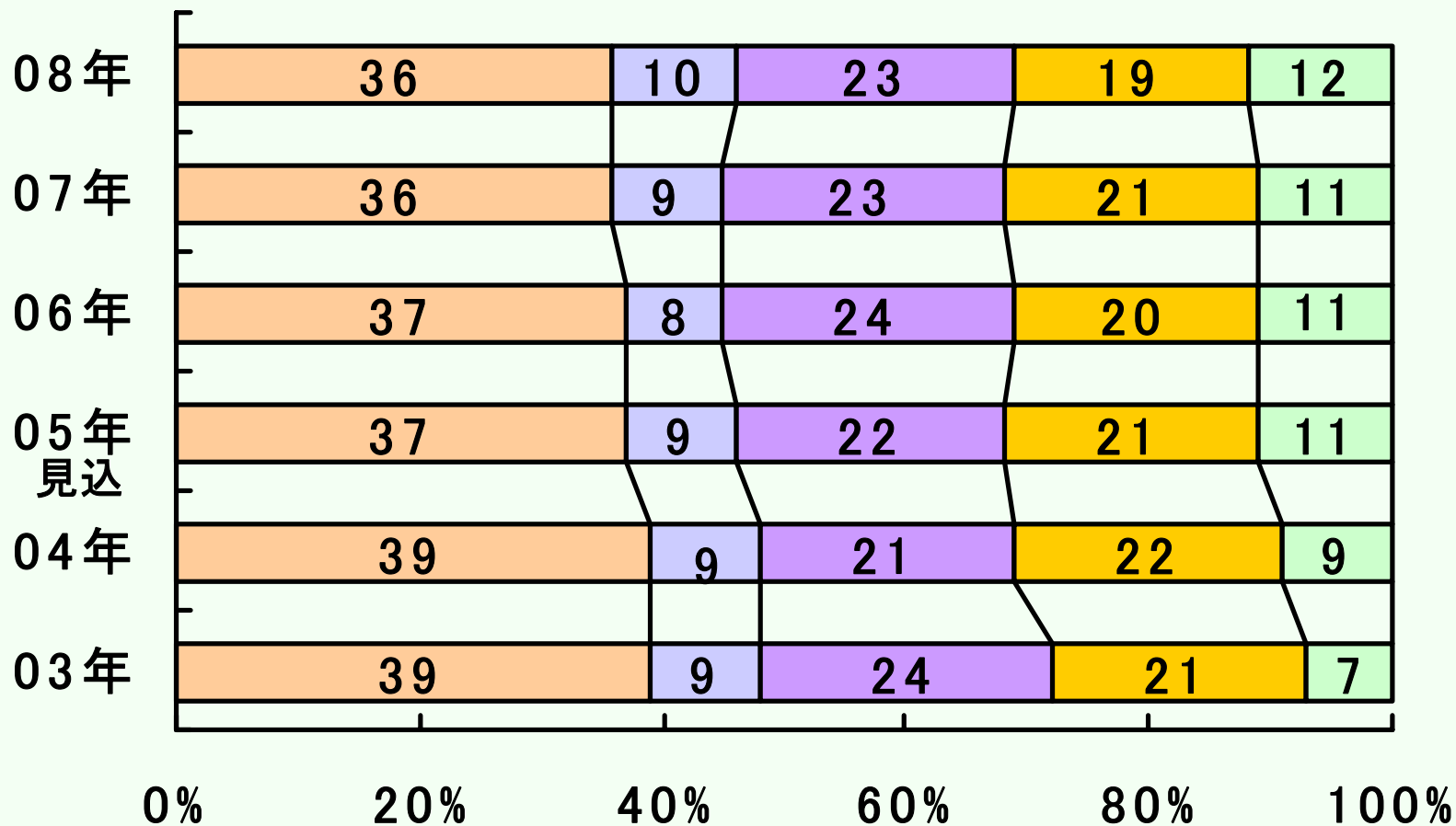


連結子会社 売上高・経常利益推移

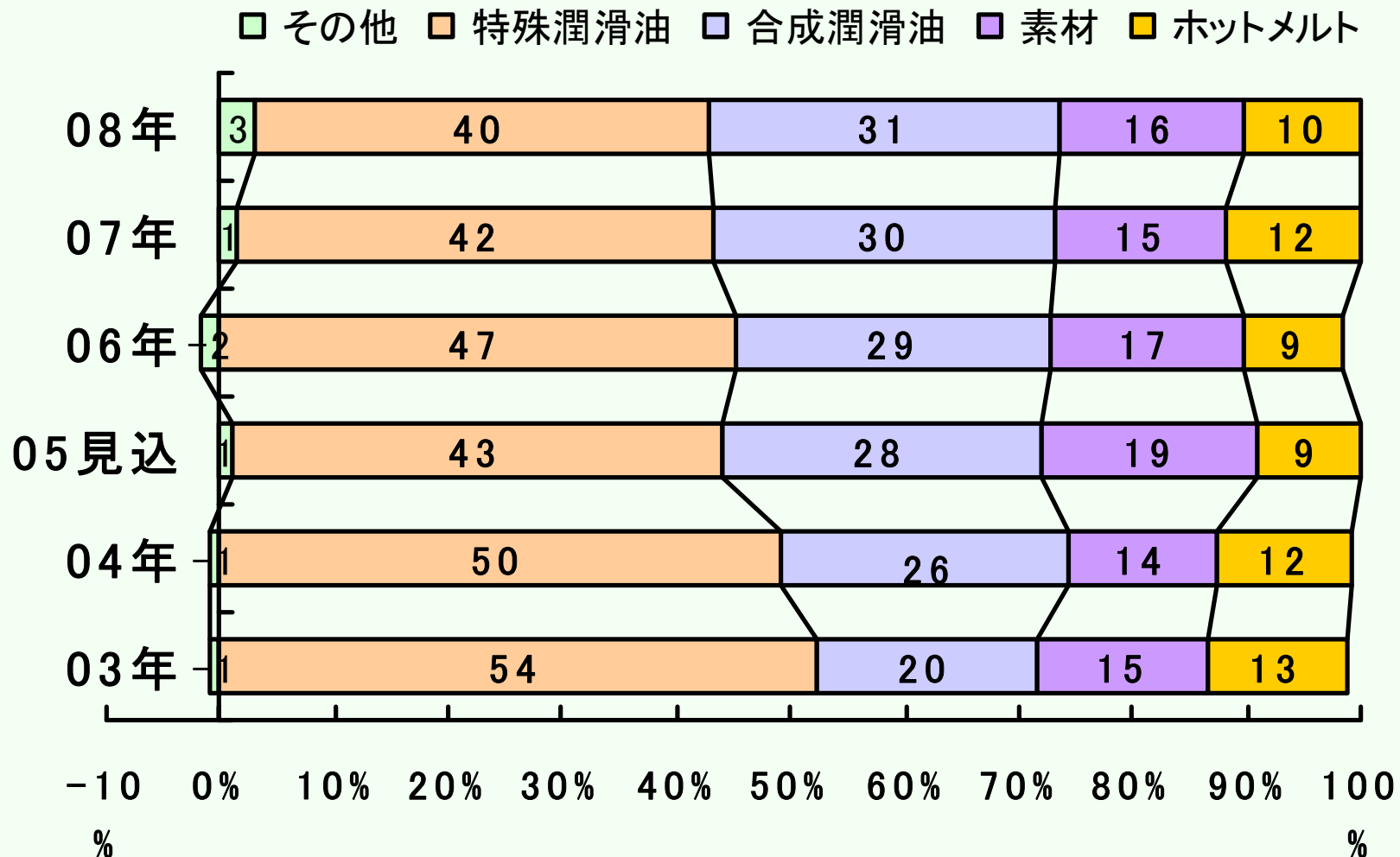


部門別売上高 構成比の推移(連結)

■ 特殊潤滑油
 ■ 合成潤滑油
 ■ 素材
 ■ ホットメルト
 ■ その他



部門別貢献利益 構成比の推移(単体)

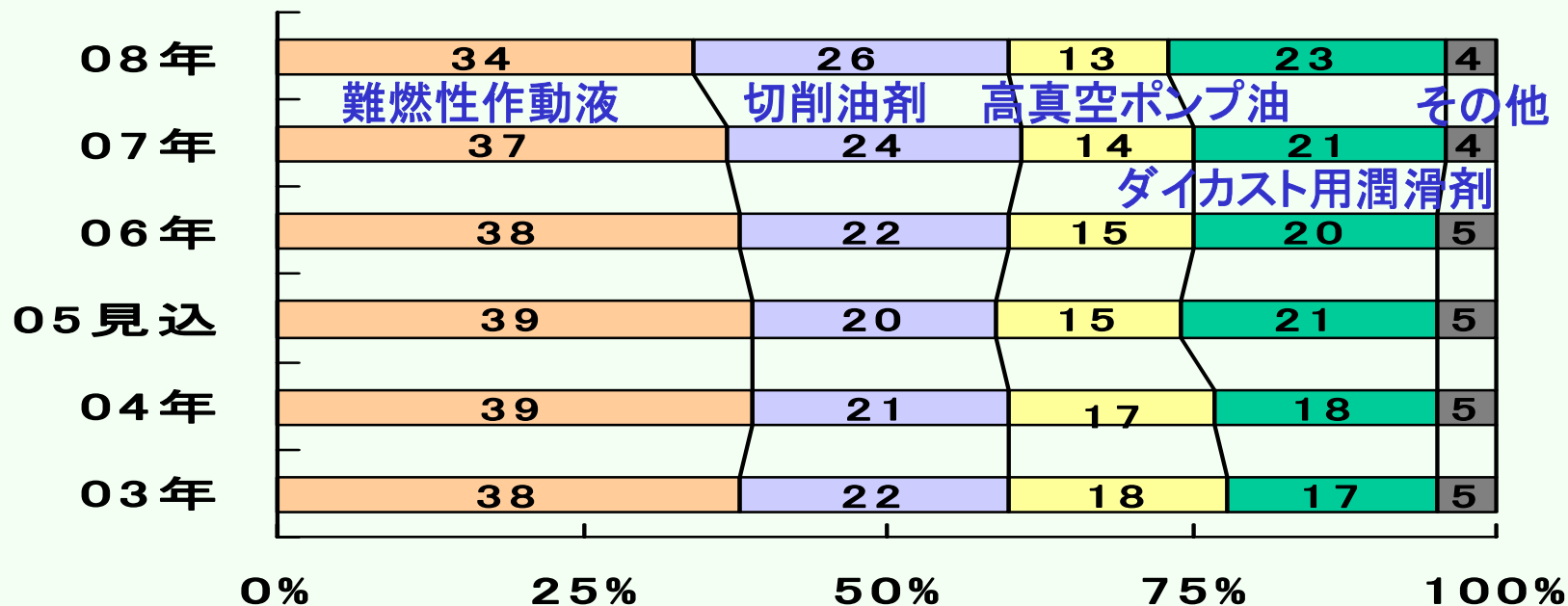
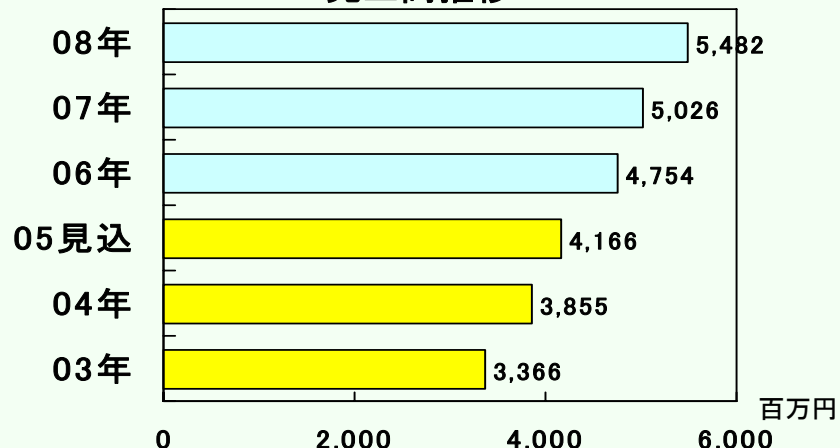


部門別売上高と製品構成比の推移(連結)

特殊潤滑油部門

- ・内外自動車業界は引き続き好調、部品のアルミ化もさらに進展。
- ・切削油、ダイキャスト離型剤の新製品によるシェアアップ。

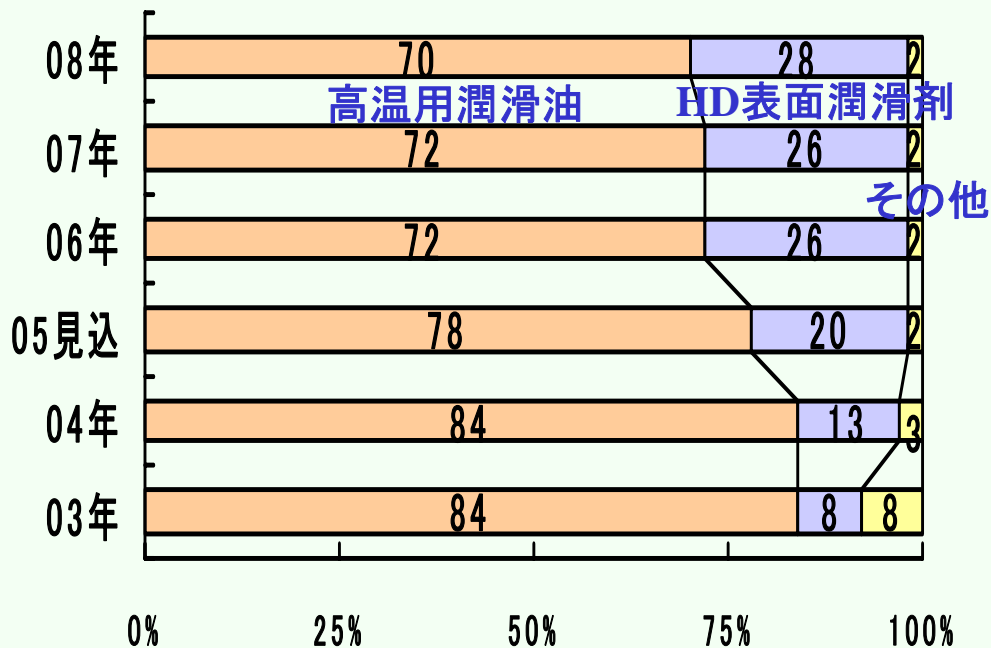
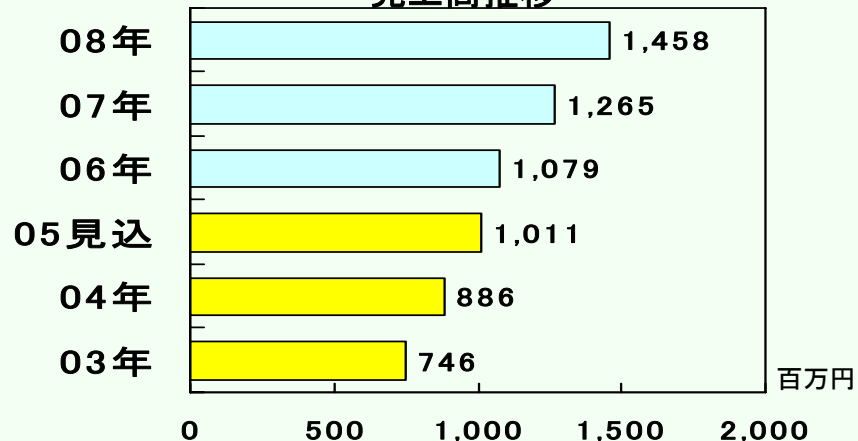
売上高推移



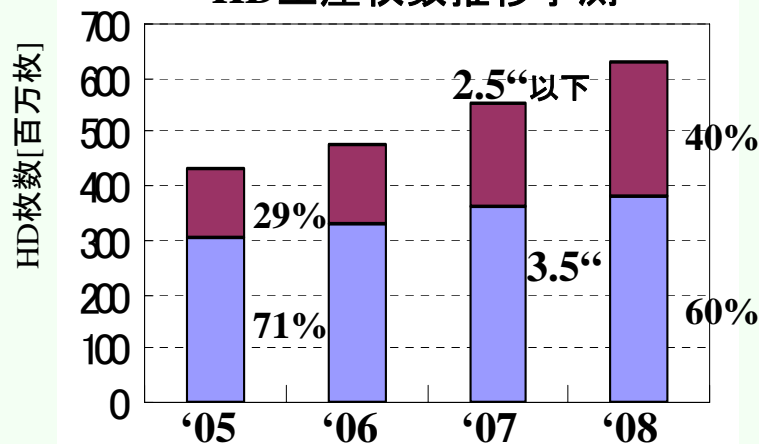
合成潤滑油部門

- ・高温用グリース基油は、ゆるやかな増加基調。新用途開発に注力。
- ・ハードディスク用表面潤滑剤は、3.5インチでのシェア拡大。小型ディスク向け等の新製品投入は、2007年度後半。

売上高推移



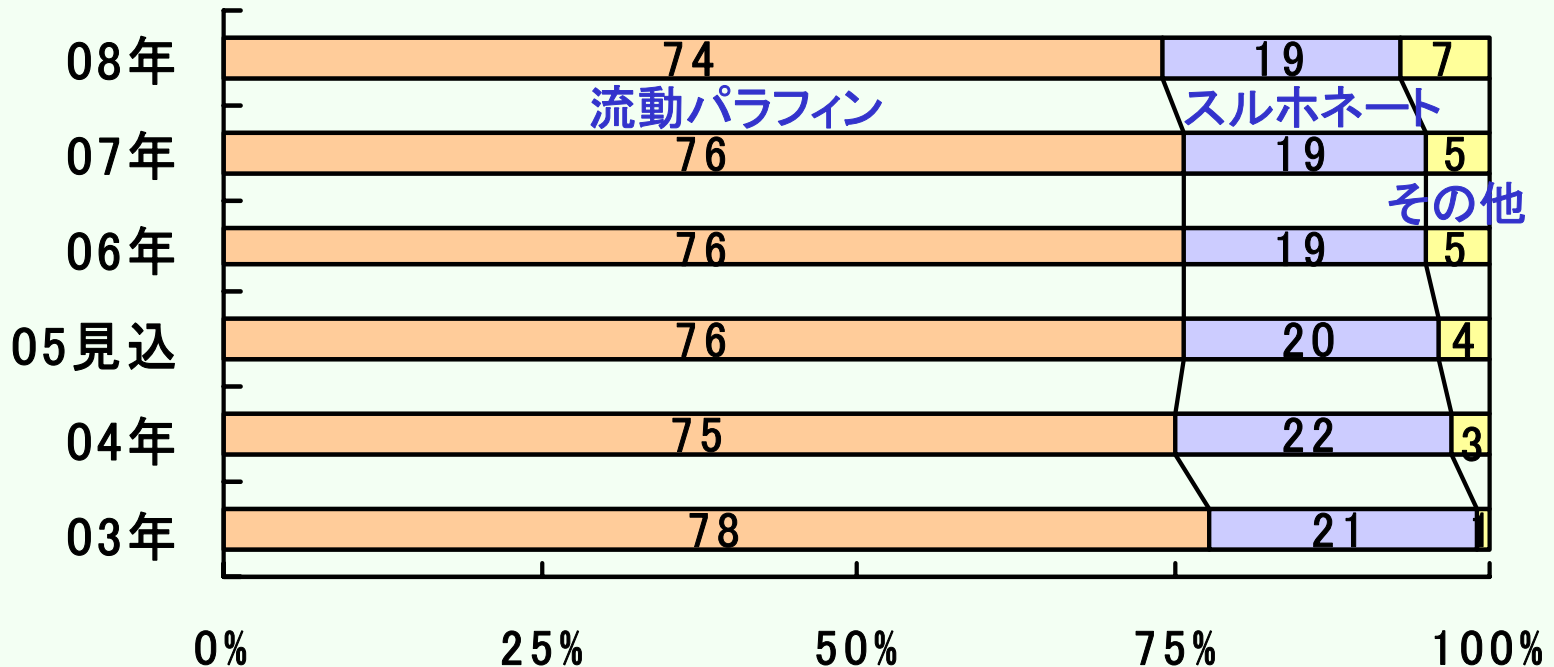
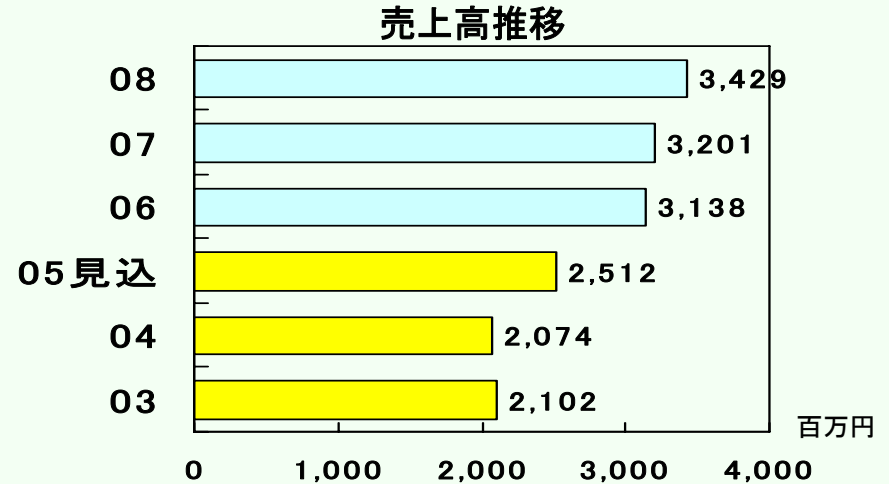
HD生産枚数推移予測



[出所:]野村証券金融経済研究所(05.11.28)

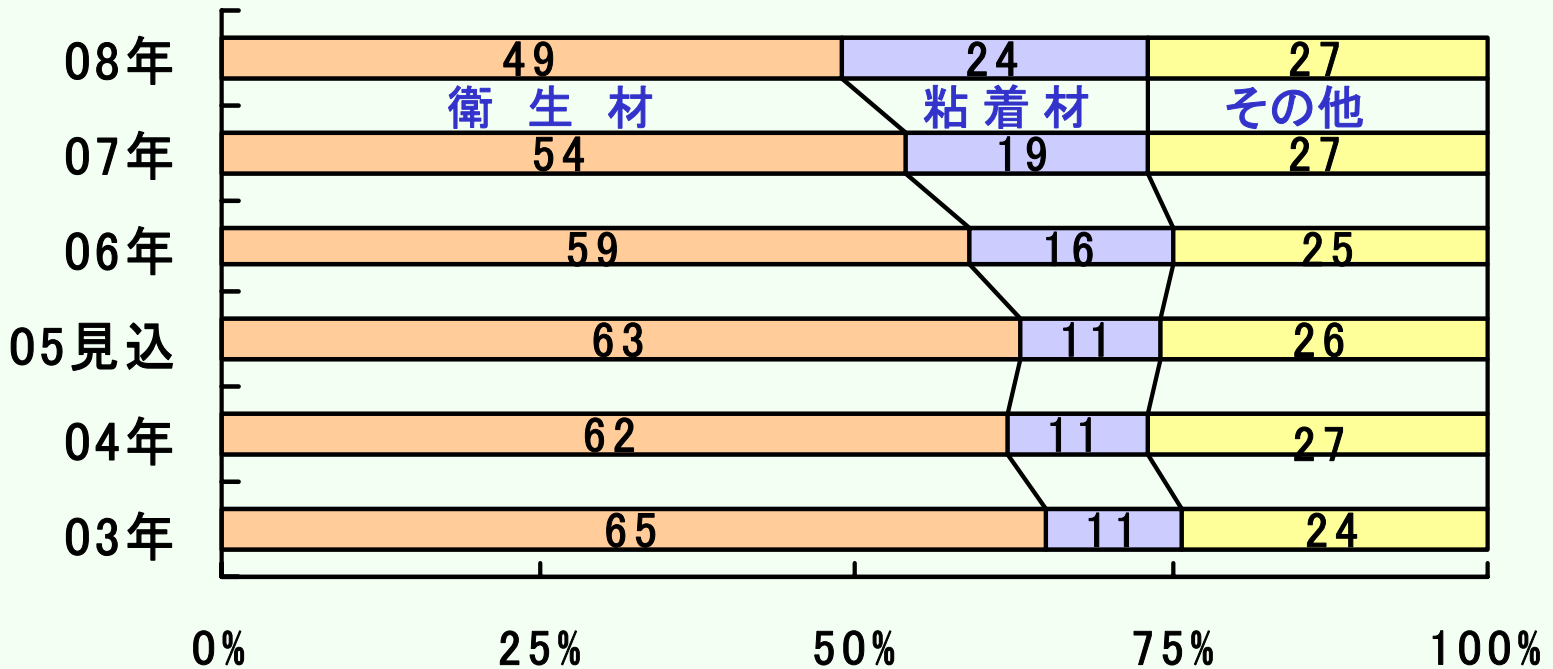
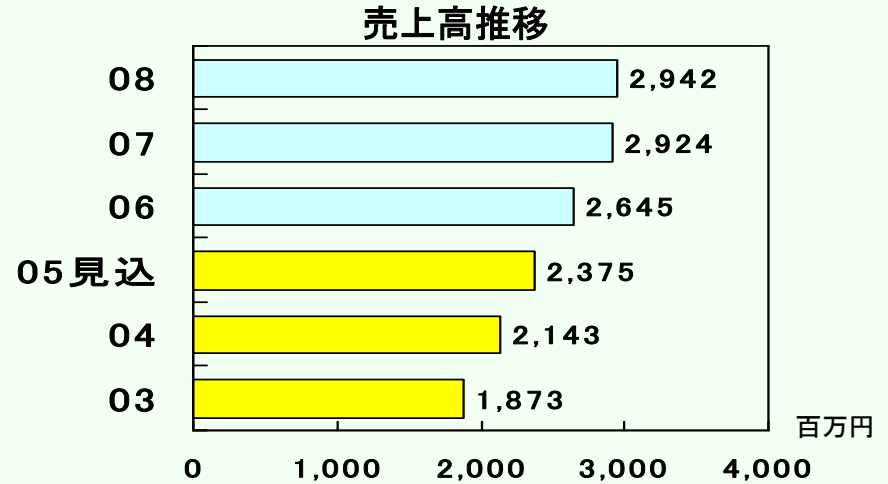
素材部門

- ・海外メーカーは引き続き、日本市場に対して消極的。
- ・2007年度、製造設備大幅改造により能力アップを図る
- ・足許、海外メーカーの相次ぐトラルにより、玉不足は深刻。

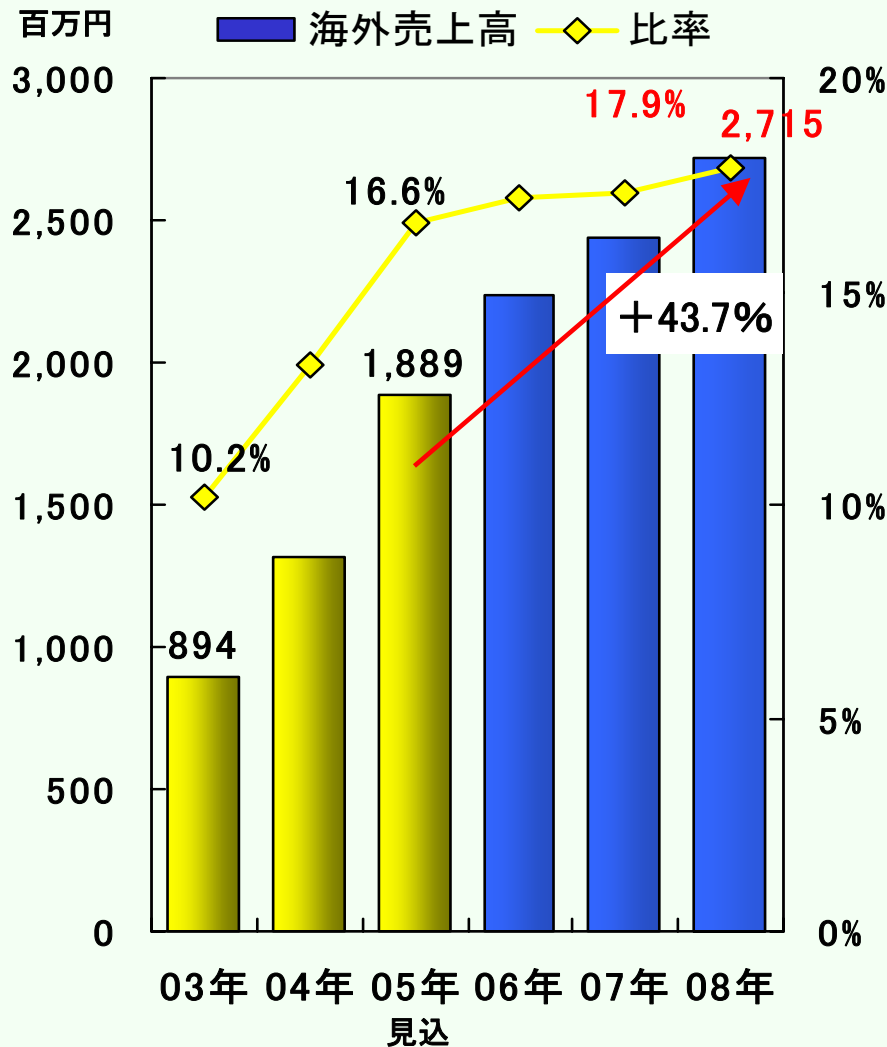


ホットメルト接着剤部門

- ・衛生材向けはコスト競争力を強化し、大人用のシェア確保を図るも、価格はダウン。
- ・引き続き新製品開発により、ラベル向け粘着剤、自動車内装用等を拡充。



海外売上高比率



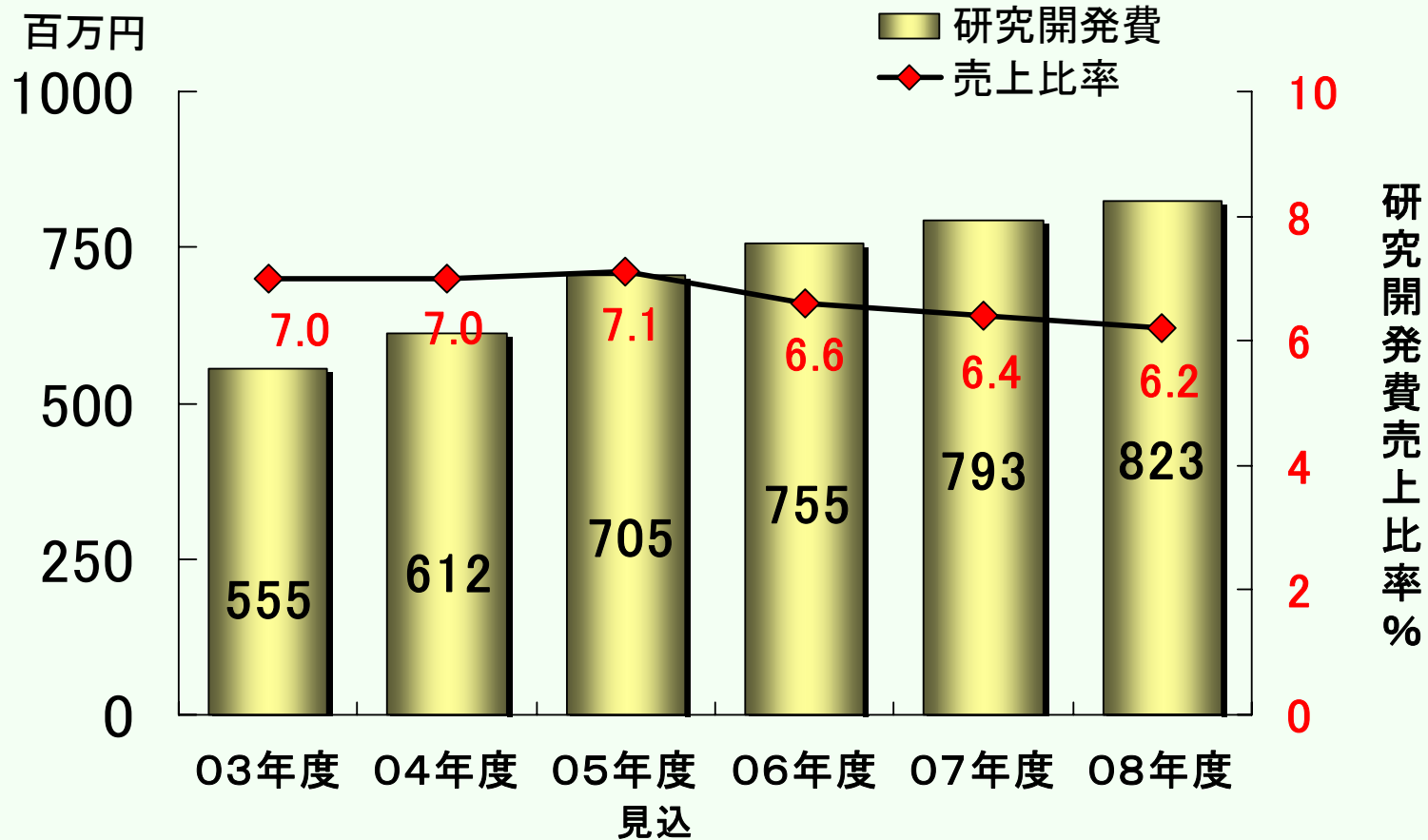
- 引き続き東南アジアでは、自動車産業の成長につれて拡大。
- 中国は、日系自動車メーカーの立ち上がり等で急成長。
- 将来に向けた販売網の拡充
アメリカ、インドを検討。

無錫徳松科技 売上高推移
(持分法適用会社)



研究開発投資〔単体ベース〕

MORESCO



新製品開発計画

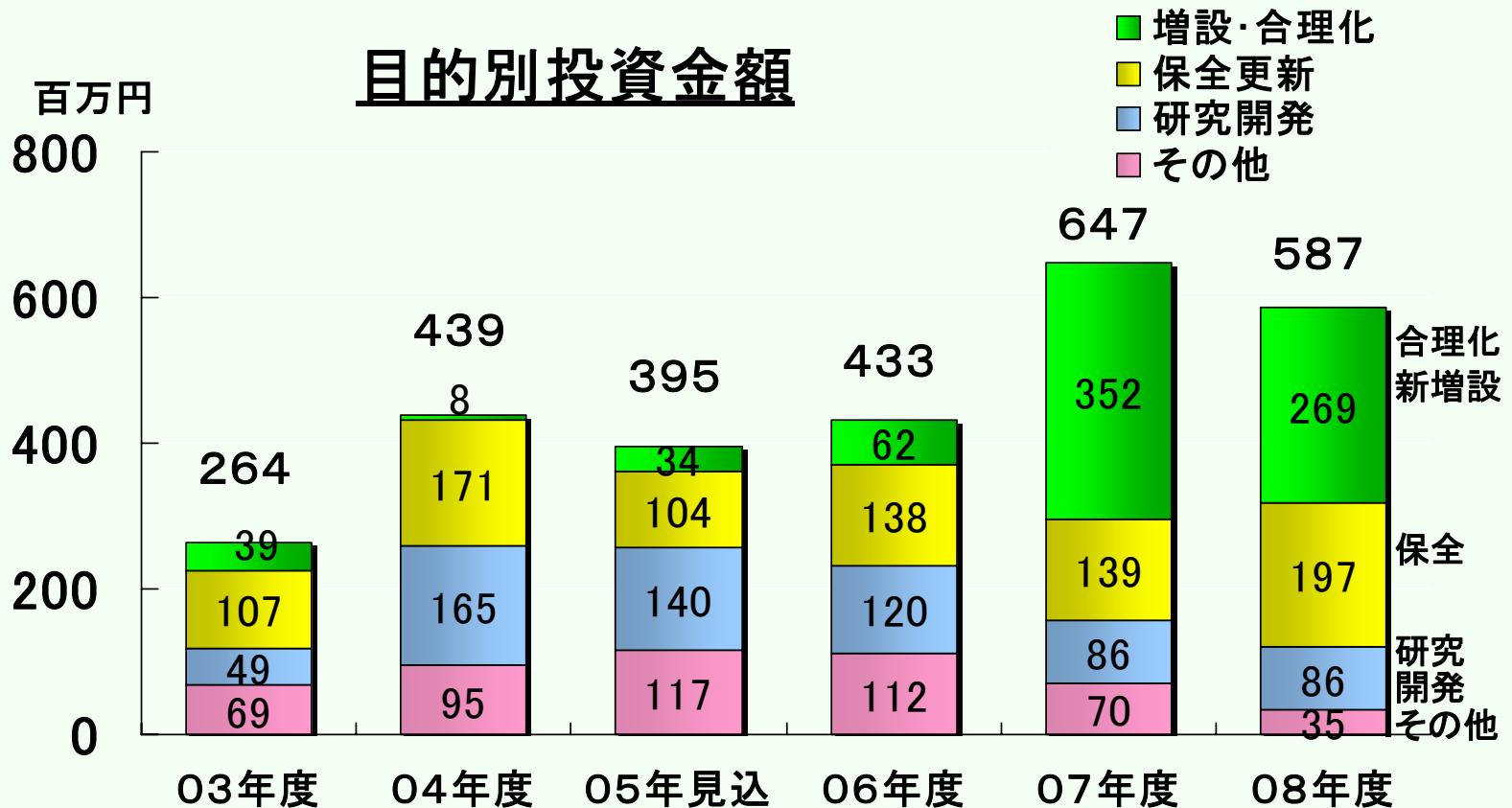
MORESCO

	06年	07年	08年
ハードディスク用 表面潤滑剤	・3.5インチ用は シェアを拡大	← 小型用新製品を上市	
HDテクスチャ用 添加剤	・ガラス用を開発販売中、 シェア拡大	← アルミ用上市	
機能性スラリー	← 磁気ヘッド用スラリーに参入	← 新スラリー開発	
ダイキャスト用 金型離型剤	・マグネシウム、アルミ用の高機能 離型剤を開発販売中		
切削油剤	← 合成型水溶性切削油を上市	← 高性能エマルジョン型切削油を上市	
ホットメルト 接着剤・粘着剤	・溶剤系に替わる高機能接着剤 ・粘着剤の開発・販売		
水浄化装置	・促進酸化廃水処理装置(紫外線・オゾン・酸化剤)を開発・販売 ・光触媒殺菌装置を試売中		

設備投資計画

MORESCO

目的別投資金額



減価償却
費 (百万円)

340	330	392	433	464	530
-----	-----	-----	-----	-----	-----

連結・自己(株主)資本比率と借入金依存度の推移

04年度JASDAQ上場化学会社平均(当社調べ)

自己資本比率; 56.3%

借入金依存度; 14.2%

03/2期末

資産	負債
流動資産	その他負債
固定資産	借入金37.2%
	自己資本19.1%
7,837	7,837

06/2期末見込

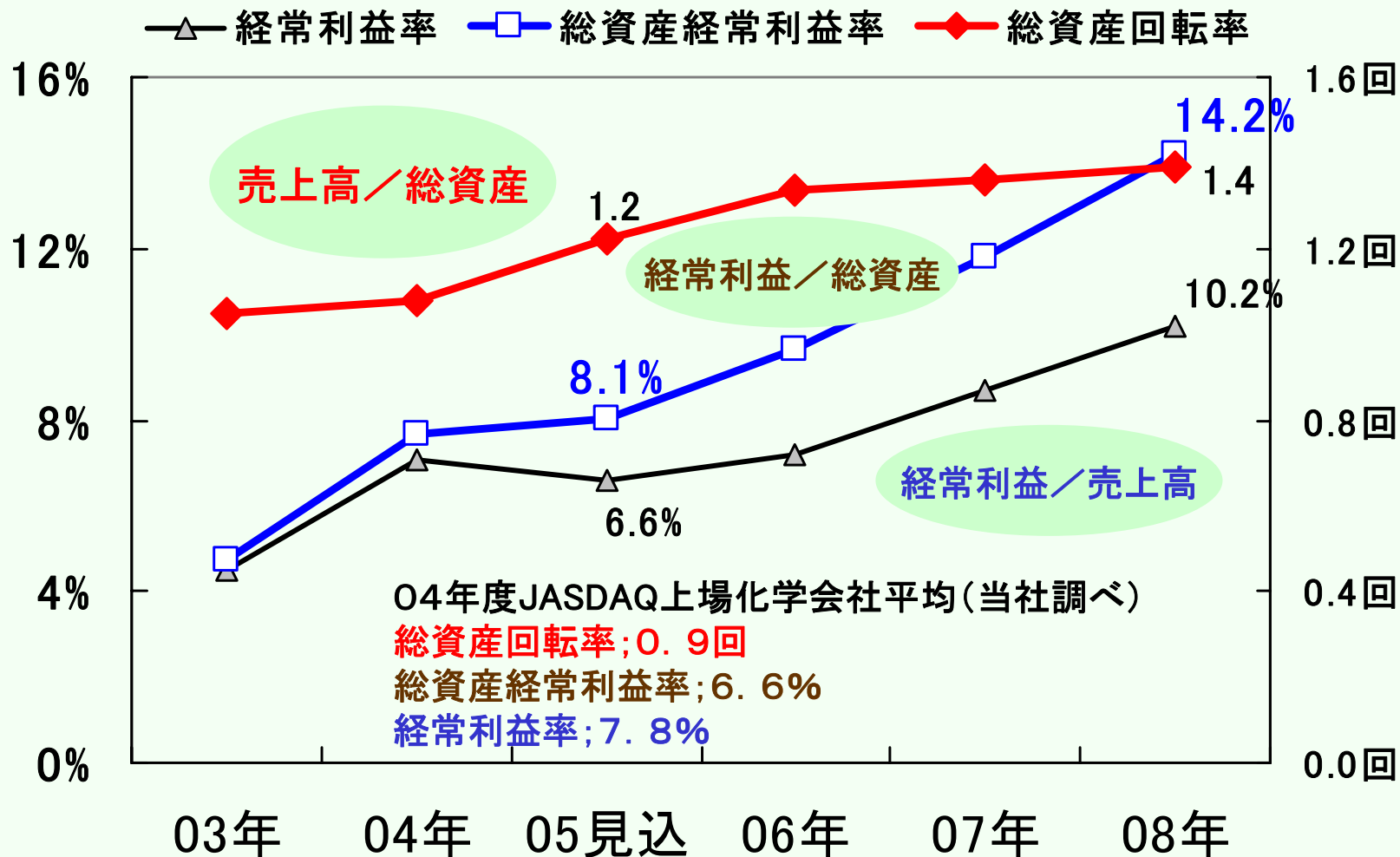
資産	負債
流動資産	その他負債
固定資産	借入金16.6%
	自己資本36.2%
9,256	9,256

09/2期末

資産	負債
流動資産	その他負債
	借入金0.7%
固定資産	自己資本48.2%
10,898	10,898

連結・総資産利益率の推移

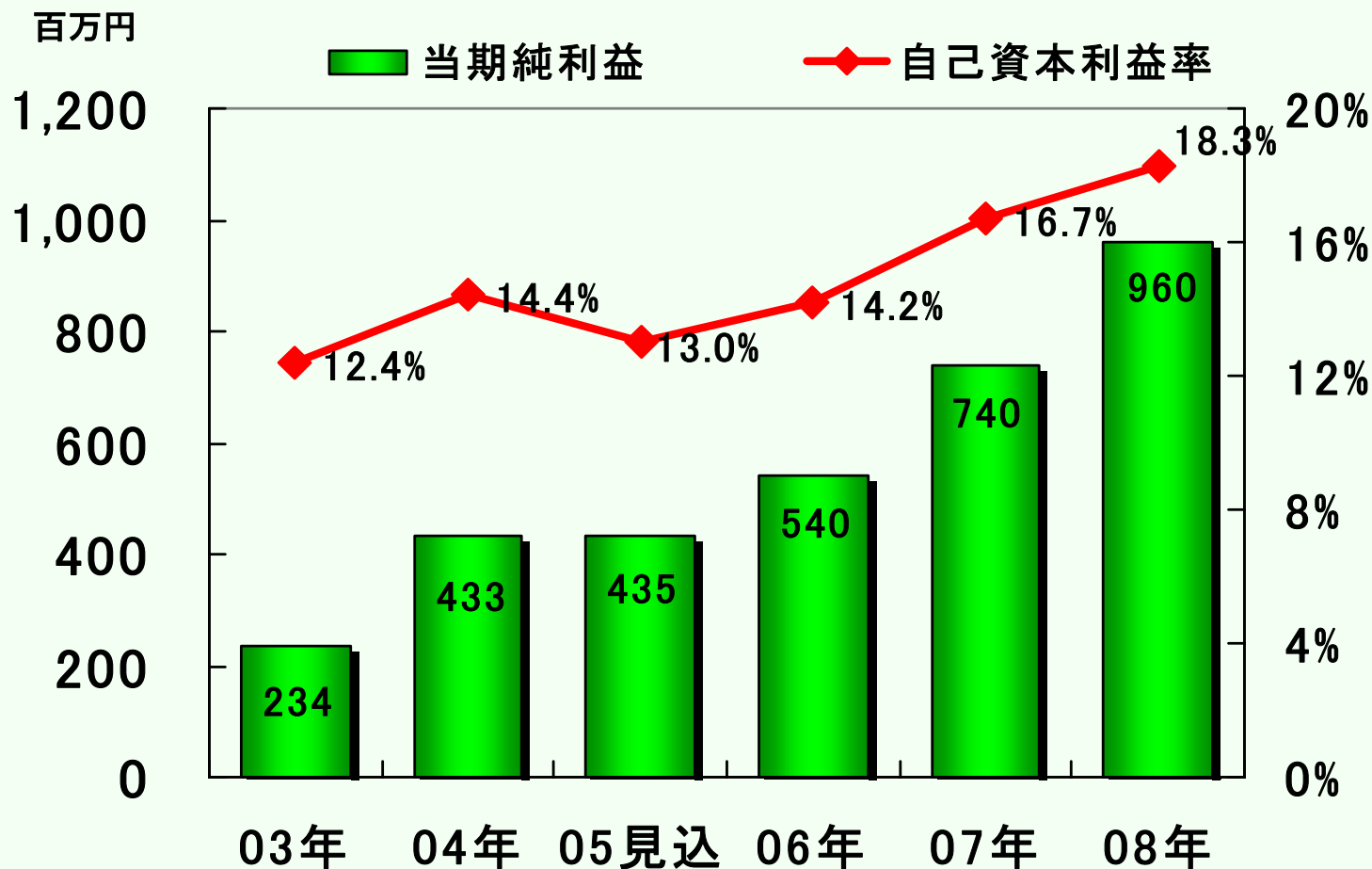
MORESCO



ROEの推移

MORESCO

連結当期純利益／自己資本(期末)



2006年度利益計画(連結)

MORESCO

単位:百万円

	03年度	04年度	05年度 実績見込	2006年度 計画	前期比
売上金額	8,805	9,893	11,335	13,030	115%
売上原価	5,572	6,246	7,496	8,710	116%
売上総利益	3,233	3,647	3,839	4,320	113%
販管費	2,762	2,912	3,140	3,400	108%
営業利益	471	735	699	920	132%
営業外収支	△77	△33	+47	+20	42%
経常利益	395	702	746	940	126%

06.3.10現在の見込値

2006年度利益計画(単体)

MORESCO

単位:百万円

	03年度	04年度	05年度 実績見込	2006年度 計画	前期比
売上金額	7,876	8,697	9,911	11,420	115.2%
売上原価	5,391	5,872	7,000	8,120	116.0%
売上総利益	2,485	2,825	2,911	3,300	113.4%
販管費	2,117	2,244	2,410	2,610	108.3%
営業利益	367	582	501	690	137.7%
営業外収支	△49	△26	+64	+20	31.3%
経常利益	318	556	565	710	125.7%

06.3.10現在の見込値

<ま と め>

1. 原料値上がりと製品値上げの動向
2. ハードディスク用表面潤滑剤の動向
3. 特殊潤滑油部門の新製品
4. 流動パラフィンの市場動向

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、その情報の精度を保証するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。

本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

M O R E S C O

(登記社名: 株式会社松村石油研究所)

<http://www.moresco.co.jp/>

IR窓口 078-303-9058(広報室)

MORESCO

(登記社名:株式会社松村石油研究所)

